平成２４年度　事業概要報告

現執行部におきまして任期最終年度の事業を終え、当年度はもとより、会務をお預かりしました２年間における会員の皆様の深いご理解と多大なご協力に対し、御礼申し上げます。

さて、平成２４年度事業につきましては、前年度に取り掛かりました継続事業を執行するとともに、主たる事業として掲げました広報、研修、相談を充実させるべく、担当部の役員、部員が一丸となってその力を傾注してまいりました。
その成果についての評価は会員の皆様のご判断を待ちたいと考えます。

各部の具体的な事業執行については、それぞれ提出されております報告書のとおりですが、担当者はどの事業を行うにも、まず、念頭にありましたことは、いかに支出を削減するかという、積極的な事業展開とは対極にある課題との闘いでした。
本来ならば、自由闊達な事業を行うためには潤沢な予算が望まれます。しかしながら当会の規模、限られた収入等を考えますと、厳しい制限をかけざるを得ません。
各事業を担当して頂いた会員には、そのような状況を充分ご理解頂き、多くが自己犠牲を伴いながらの会務であり、会員を代表して、あらためて感謝申し上げます。

平成２４年度事業報告

総務部長　赤井博義

１．諸規則及び諸規程の策定並に見直し及びそれらに伴う会則改正

〇司法書士の業務広告に関する規則運用についての指針の策定

〇戸籍謄本・住民票の写し等の職務上等請求書に関する規程の策定

〇補助者事務の指示に関する運用基準の一部改正

〇和歌山県司法書士会顕彰規程の策定

〇和歌山県司法書士会職員就業規程の一部改正

〇相続財産管理人等被推薦候補者名簿の作成・登載

〇和歌山県司法書士会綱紀委員会規則の見直し

〇和歌山県司法書士会注意勧告運用規則の見直し

〇和歌山県司法書士会紛議調停規則の見直し

〇和歌山県司法書士会苦情対応窓口の設置に関する規程の策定

〇和歌山県司法書士会業務賠償責任保険運用規程の一部改正

〇和歌山県司法書士会事故処理委員会規程の一部改正

〇会則改正の準備

２．司法書士ハンドブックの発行

３．非司調査への協力（別紙①のとおり）

４．会史編纂

委員として新たに中弘会員を加え、次年度以降の方針を協議することとなった。

５．近司連東日本大震災支援事業への協力（別紙②のとおり）

別紙①　非司調査（司法書士法施行規則第４１条の２の規定による調査）

和歌山支部　　平成２４年８月２１日　午前９時～午後４時　本局４階会議室

調査対象申請書類　平成２４年６月１日から同月３０日までの不動産登記申請書類（表示に関する登記の申請書類を除く）及び商業法人登記申請書類

調査員　伊澤徹、泉好一、西田千鶴、菱井明人、桝谷知樹、薮中正浩、井上弘一、境勇人、西川邦和、宮脇直也、弥勒多加志、宗田員行

調査結果　不動産登記　２３３６（３）

商業登記５５８（５８）

法人登記４６３（２５）

田辺支部　平成２４年８月２１日　午前９時～正午

調査対象申請書類　平成２４年２月１日から同年３月３０日までの不動産登記申請書類（表示に関する登記の申請書類を除く）

調査員　寒川真典、野田明弘、向井良平、堅田紀代美、鈴木静夫、五嶌幹夫、栗林秀成、庄堂輝子

調査結果　１９６１（２２）

橋本支部　平成２４年９月１１日　午後１時～午後４時

調査対象申請書類　平成２４年３月１日から同月３１日までの不動産登記申請書類（表示に関する登記の申請書類を除く）

調査員　西岡正圭、若林浩

調査結果　５００（３）

近司連東日本大震災支援事業への協力(相談員)

(別紙②)

氏名	目的	日付
森脇　広幸	福島県南相馬市 原発賠償説明会および相談会 （3/２４）	３月２３日～２４日
森脇　広幸	福島県相馬市役所法律相談 南相馬復興支援事業 （１１/３０・１２/1）	１１月２９日～１２月１日
楠見　郁夫		１１月２９日～１２月１日

平成２４年度　経理部事業報告

経理部長　阪 田 英 司

部会開催報告

第１回　平成２４年４月　９日（平成２３年度決算報告及び平成２４年度予算案策定）
第２回　平成２４年６月１４日（事件数割会費と定額会費の検討）
（事務局職員給与規程の見直し）
第３回　平成２４年９月　５日（事件数割会費と定額会費の検討）
第４回　平成２５年１月２２日（意見交換会における出席会員の意見についての検討）
（定額会費一本化に向けての検討）

事 業 報 告

１．平成２３年度決算報告及び平成２４年度予算案策定

平成２３年度の決算報告書が完成したので、第１回経理部会において、決算書の内容を検討した。

各部長からの予算の概算要求を踏まえ、経費節約を念頭に、平成２４年度の予算案の策定作業を行った。

但し、今年度も日司連助成金の交付が見込めることから、事業費については平成２３年度決算額を約２００万円上回る予算をつけた。

２．事件数割会費と定額会費の検討

平成２４年度の定時総会において、平成２３年度経理部事業報告として、事件数割会費と定額会費の検討について、報告した際、反対意見も出ず、質問もなかったことから、本年度において、定額会費一本化に向け、検討することにした。

第２回及び第３回経理部会において、定額会費一本化にした場合の高齢会員及び新入会員に対する考慮を検討し、会費の減免方法を採用するという結論に至った。会費の減免方法を採用した場合、事業執行の為の年間必要収入から計算すると、定額会費月額２万円が妥当な金額であるとの結論を得た。

３．事件数割会費の廃止に伴う定額会費一本化についての意見交換会の開催

平成２４年１１月１０日（土）和歌山会場　　参加者　一般会員７名
平成２４年１２月　１　日（土）田辺会場　　参加者　一般会員６名
両会場で出た主な意見は以下の通り。

・定額会費一本化が望ましい
・新入会員についての配慮は要らないのではないか
・新入会員についてはある程度の配慮があってもいいのではないか
・高齢会員について何らかの配慮は必要
・新入会員、高齢会員、両方とも配慮は不要
・新入会員については、会費等金銭面以外のところで支援すべき
・事業執行に必要な額はどれ位なのか？事業仕分け等も考え、必要最低限の収入を算定し会費について精査すべき
・従来の定額制、事件数割の併存が公平であると思われる。事件数割会費が著しく減少した場合に定額会費一本を考えればどうか？ただ、事件数割会費の徴収方法・内容に不公平なものがあるとすれば定額会費一本化への移行もやむを得ない。

以上の意見交換会での会員からの貴重な意見を基に、第４回経理部会において検討した結果、定額会費一本化に向けて、会員に対して、更なる理解を求めて行くべきであるとの意見でまとまった。

同時に、高齢会員への配慮方法についても、運用規程を策定し、何らかの優遇措置を考えるようにすべきであるとの意見でまとまった。

新入会員への配慮方法については、直接的に現金等で援助するよりも何らかの業務（仕事）を出来るようにサポートする、との方法で支援した方が良いとの意見でまとまった。

定額会費の金額については、平成２４年度の決算状況を参考にして、再度検討するとの結論に至った。

平成２４年度　企画部事業報告

企画部長　　楠　本　博　昭

企画部では、昨年の定時総会において承認されました下記の事業計画に基づき事業に取り組みましたが、十分な成果を報告できるまでには至りませんでした。

また、司法書士法改正大綱に対する意見の集約につきては、各項目についてアンケートを実施する計画でしたが、内容をまとめることができず、実施できませんでした。

以下、反省点も含めて報告致します。

（平成２４年度　定時総会において承認された事業計画）

１．司法書士業務の拡充に関し、主に次の事業に取り組む

（１）登記制度に関する調査・研究

（２）企業法務・労働問題に関する調査・研究

２．司法書士法改正大綱に対する意見の集約

３．ＡＤＲに関する調査、研究並びに会員に対する啓発活動

４．法教育事業の推進

１．オンライン申請促進事業

①　ブロック別オンライン推進担当者会議

日　時　　平成２４年１０月１５日（月）
　　午後１時００分から午後５時００分

場　所　　大阪司法書士会館

出席者　　日司連からオンライン推進担当者　３名
　　近畿各会担当者　７名

内　容　　各会の実情を報告し、意見交換をしました。

各単位会担当者においても、オンライン利用率を向上させる具体策がなく、対策に苦労しているのが実情でした。

今年度、企画部事業においても特段具体策を打ち出せず、平成２５年４月１日から登録免許税のオンライン減税も廃止された状況では、会員個々の努力に期待する以外に方法がありません。

オンライン申請に取り組んでいただくようお願いします。

②　オンライン申請推進に関する法務局との協議会

日　時　　平成２４年１２月６日（木）
　　午後４時００分から午後５時１５分

場　所　　和歌山県司法書士会館

出席者　　法務局側　　４名
　　司法書士会側　西桜会長　稲垣副会長　三木副会長
　　赤井総務部長　楠本
内　容　　法務局が実施した会員へのアンケートの集計結果について
　　意見交換。
　　今後のオンライン申請率向上に向けて協議をしました。

この協議においては、和歌山地方法務局だけで実施できる対策に限られるため、有効な対策を立てるのは困難な状況でした。

２．ＡＤＲに関する意見交換会開催

日　時　　平成２４年１１月１０日（土）
　　午後３時００分から午後４時００分
出席者　　９名

出席者はほとんど役員であり、一般会員の出席が少数にとどまりました。ＡＤＲ事業への関心が低く、今後の事業においては会員への広報を工夫する必要があると思われます。

３．研修会開催

①　会員全体研修会（研修部と共催）

テーマ　　紛争に関する交渉術・解決術とＡＤＲ
　　第１部　　紛争に関する交渉術・解決術
　　第２部　　司法書士とＡＤＲ
日　時　　平成２４年１０月２０日（土）
　　午後１時００分～午後５時００分
場　所　　和歌山県司法書士会館
講　師　　大阪大学大学院法学研究科教授　　仁木恒夫　先生
出席者　　２５名

②　労働相談のための事前研修会

テーマ　「司法書士なら知っておきたい。相談者の心を開くコミュニケーション法」
日　時　　平成２４年１１月２１日（水）
　　午後６時００分～午後８時００分
場　所　　和歌山県司法書士会館
講　師　　平松利麻先生（社会保険労務士・産業カウンセラー）
出席者　　１７名

③　会員全体研修会（研修部と共催）

テーマ　　「企業経営者が知っておきたい労働トラブル」
　　～大事な「会社」を守るための具体的対応策～
日　時　　平成２５年１月２６日（土）
　　午後１時００分～午後５時００分
場　所　　和歌山県司法書士会館
講　師　　平松利麻先生（社会保険労務士・人事労務コンサルタント）
出席者　　２５名

４．労働相談会開催（土曜日の定例相談会と合同）
日　時　　平成２４年１１月２４日（土）
　　午後１時００分から午後４時００分
場　所　　和歌山県司法書士会館
相談員　　４名（戸井相談事業部長、井口企画部理事、野嶋企画部員、
　　楠本）
相談者　　０名

定例相談会と合同開催のため、一般の相談者は何名かいましたが、労働問題に関する相談はありませんでした。労働問題を司法書士に相談する認知度が低く、広報を工夫する必要があると思われます。

５．高校生法律講座実施

卒業前の約９４０名の生徒の方々に法律講座を受講していただきました。今年度の実施校は以下のとおりで、昨年より１校増えて７校において実施しました。

内容は、日司連作成のＤＶＤの視聴（タイトル：多重債務に陥らないために）、企画部で作成したパワーポイントを使って契約の基礎知識及びＤＶＤの解説、国民生活センターのホームページから抜粋した最近の悪質商法の事例紹介を行いました。

①　場　所　　星林高校
日　時　　平成２４年１２月１７日（月）
　　午後１時２５分から午後３時１５分
受講者　　進路の決定した３年生　約１５０名
担当者　　野田企画部員、福留会員、楠本
内　容　　多重債務に陥らないために。悪質商法の事例紹介

②　場　所　　紀央館高校
日　時　　平成２４年１２月１９日（水）
　　午後０時４０分～午後２時１０分
受講者　　３年生　約２００名

担当者　　南口理事、廣畑企画部員、楠本
内　容　　多重債務に陥らないために。

③　場　所　　耐久高校
日　時　　平成２４年１２月２０日（木）
　　午前１０時３５分～午前１２時１５分
受講者　　進路の決定した３年生　約１４０名
担当者　　三木副会長、門研修部長、川田広報部長、楠本
内　容　　多重債務に陥らないために。悪質商法の事例紹介

④　場　所　　橋本高校
日　時　　平成２５年１月１６日（水）
　　午後１時２５分～午後３時１５分
受講者　　進路の決定した３年生　約４０名
担当者　　和田会員、正木会員、楠本
内　容　　多重債務に陥らないために。悪質商法の事例紹介

⑤　場　所　　和歌山工業高等専門学校
日　時　　平成２５年１月２３日（水）
　　午後４時１５分～午後５時２５分
受講者　　５年生　約１００名
担当者　　西櫻会長、南口理事、楠本
内　容　　多重債務に陥らないために。悪質商法の事例紹介

⑥　場　所　　貴志川高校
日　時　　平成２５年２月１日（金）
　　午前８時５５分～午前１１時４５分
受講者　　３年生　約２４０名
担当者　　西櫻会長、南口理事、守屋企画部員、福留会員、楠本
内　容　　多重債務に陥らないために。悪質商法の事例紹介

⑦　場　所　　串本古座高校（串本校舎）
日　時　　平成２５年２月７日（木）
　　午前８時５０分～午前９時４０分
受講者　　進路の決定した３年生　約７０名
担当者　　楠本、平田会員
内　容　　多重債務に陥らないために。悪質商法の事例紹介

平成２４年度　研修部事業報告

研修部長　　門　　義　之

実施した研修

平成２４年

１．　５月２５日　相続財産管理人等候補者研修　（田辺市）　〔単位　１・５〕
講　師　　和歌山家庭裁判所田辺支部裁判所書記官　宇代　芳久　先生

２．　５月２６日　橋本支部研修　（橋本市）　〔単位　４・０〕
「今、社会から求められる司法書士・労働問題」（ＤＶＤ）

３．　６月　１日　相続財産管理人等候補者研修　（和歌山市）　〔単位　１・５〕
講　師　　和歌山家庭裁判所訟廷管理官　　中村　圭吾　先生

４．　７月１３日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「一般社団・財団法人の移行登記について」（ＤＶＤ）

５．　７月２１日　橋本支部研修　（橋本市）　〔単位　３・５〕
①　「株式会社②機関設計と役員変更」（ＤＶＤ）
②　「株式会社①設立」（ＤＶＤ）

６．　７月２８日　田辺支部研修　（田辺市）　〔単位　４・０〕
「今、社会から求められる司法書士・労働問題」（ＤＶＤ）

７．　８月１９日　リーガル研修　（和歌山市）　〔単位　４・５〕
①　「法定後見申立」（ＤＶＤ）
②　「法定後見就任直後の実務」（ＤＶＤ）
③　「法定後見就任中の実務」（ＤＶＤ）

８．　８月２４日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「今、社会から求められる司法書士・労働問題」（ＤＶＤ）２－１

９．　８月２５日　会員全体研修①　（和歌山市）　〔単位　４・０〕
「司法書士倫理」
講　師　　日本司法書士会連合会常任理事　櫻井　清　先生

１０．　８月２６日　リーガル研修　（和歌山市）　〔単位　４・５〕
①「高齢者虐待防止法の概要について」（ＤＶＤ）
②「法定後見終了後の実務（死後事務を含む)」（ＤＶＤ）
③「後見人等の倫理と問題事例」（ＤＶＤ）

１１．　８月３１日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「今、社会から求められる司法書士・労働問題」（ＤＶＤ）２－２

１２．　９月２１日　和歌山支部研修　（和歌山市）　〔単位　２・０〕
「ＡＤＲ（裁判外紛争解決手続）について」
講　師　　近司連市民支援部ＡＤＲ委員会　山田　栄一郎 先生　他１名

１３．　１０月　５日　リーガル研修　（田辺市）　〔単位　２・５〕
①　「第三者後見人としての倫理」（ＤＶＤ）
②　「成年後見人に関する実務事例研究」
講　師　　加藤　未希　会員
講　師　　廣畑　恵理子会員

１４．　１０月１２日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「遺言と登記」（ＤＶＤ）

１５．　１０月１９日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「相続における税金の諸問題」（ＤＶＤ）

１６．　１０月１９日　御坊支部研修　（御坊市）　〔単位　２・５〕
①「遺産分割と登記」（ＤＶＤ）
②「遺言の登記」（ＤＶＤ）

１７．　１０月２０日　会員全体研修会②　（和歌山市）　〔単位　４・０〕
「紛争に関する交渉術・解決術とＡＤＲ」
講　師　　大阪大学大学院法学研究科教授　仁木　恒夫　先生

１８．　１０月２４日　御坊支部研修　（御坊市）　〔単位　２・５〕

①「遺留分の諸問題」（ＤＶＤ）
②「旧民法Ⅰ」（ＤＶＤ）

１９．　１０月２６日　御坊支部研修　（御坊市）　〔単位　２・５〕
①「旧民法Ⅱ」（ＤＶＤ）
②「相続・贈与における税金の諸問題」（ＤＶＤ）

２０．　１０月３１日　御坊支部研修　（御坊市）　〔単位　２・５〕
①「任意売却の基礎」（ＤＶＤ）
②「任意売却の実務」（ＤＶＤ）

２１．　１１月　３日　年次制研修　（橋本市）　〔一般参加会員　単位　５・０〕

２２．　１１月１１日　年次制研修　（那智勝浦町）　〔一般参加会員　単位　５・０〕

２３．　１１月１６日　御坊支部研修　（御坊市）　〔単位　２・０〕
「成年後見相談・開始申立手続，審判前の保全処分 」　（ＤＶＤ）

２４．　１１月１６日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「倫理・懲戒 」（ＤＶＤ）

２５．　１１月１７日　年次制研修　（和歌山市）　〔一般参加会員　単位　５・０〕

２６．　１１月１７日　消費者生活相談セミナー(和歌山市)　〔単位　３・５〕
～消費者相談充実に向けて私たちができること～
講　師　　静岡県司法書士会
山田　茂樹　先生

２７．　１１月１７日　田辺支部研修　（田辺市）　〔単位　３・５〕
①　「旧民法　Ⅰ」（ＤＶＤ）
②　「旧民法　Ⅱ」（ＤＶＤ）
③　「相続・贈与における税金の諸問題」（ＤＶＤ）

２８．　１１月２１日　労働相談のための事前研修会　（和歌山市）　〔単位　２・０〕
「司法書士なら知っておきたい。相談者の心を開くコミュニケーション法」
講　師　　社会保険労務士・人事労務コンサルタント
平松　利麻　先生

２９．　１１月３０日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「戸籍謄本・住民票の写し等の職務上請求書の取り扱いについて」（ＤＶＤ）

３０．　１２月　８日　リーガル研修　（田辺市）　〔単位　５・０〕
①「法定後見就任直後の実務」（ＤＶＤ）
②「介護保険法、年金等、身上看護の基礎知識」（ＤＶＤ）
③「成年後見人の医療行為の同意と身上配慮義務」（ＤＶＤ）

３１．　１２月２２日　会員全体研修会③　（和歌山市）　〔単位　４・０〕
「河合保弘プロデュース・民事信託と遺言を極める！」
講　師　　企業再建・承継コンサルタント協同組合　常務理事
（前・日本司法書士会連合会　監事）
河合　保弘　先生

２５年

３２．　１月２６日　会員全体研修会④　（和歌山市）　〔単位　４・０〕
「企業経営者が知っておきたい労働トラブル」
～大事な会社を守るための具体的対応策　～
講　師　　社会保険労務士・人事労務コンサルタント
平松　利麻　先生

３３．　２月　２日　リーガル研修　（和歌山市）　〔単位　５・０〕
①「後見監督人の実務」（ＤＶＤ）
②「高齢者虐待の防止に向けた地域連携について①②」（ＤＶＤ）
③「高齢者虐待の防止に向けた地域連携について③」（ＤＶＤ）

３４．　２月　３日　リーガル研修　（和歌山市）　〔単位　５・５〕
①「よりよい成年後見利用のかたちを考える」（ＤＶＤ）
②「第三者後見人としての倫理」（ＤＶＤ）
③「成年後見人の医療行為の同意と身上配慮義務」（ＤＶＤ）

３５．　２月２３日　会員全体研修会⑤　（和歌山市）
①「集団的消費者被害回復に係る訴訟制度について」　〔単位　１・５〕
講　師　　和歌山県環境生活部県民局
県民生活課　副課長　上村　英之 先生

②「会社法・商業登記に関する留意点」　〔単位　２・０〕
講　師　和歌山地方法務局
商業登記担当　登記官　小林 辰也 先生

３６．　２月２７日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　２・０〕
「遺言執行の実務」（ＤＶＤ）

３７．　３月　６日　新宮支部研修　（那智勝浦町）　〔単位　１・５〕
「公正証書による財産管理契約手続」（ＤＶＤ）

３８．　３月　９日　田辺支部研修(田辺市)　〔単位　３・０〕
①　「一般社団・財団法人の移行登記について」　（ＤＶＤ）
②　「河合保弘プロデュース・民事信託と遺言を極める！」（ＤＶＤ）
のうち、遺言編（１時間５分）

３９．　３月１８日　和歌山支部研修　〔単位　１・５〕
「担保物権の基礎理論と実務」（抵当権の物上代位性を中心に）（ＤＶＤ）

４０．　３月１９日　和歌山支部研修　〔単位　１・５〕
「担保物権と用益権」（抵当権と賃借権の対抗関係を中心に）（ＤＶＤ）

４１．　３月２１日　和歌山支部研修　〔単位　１・５〕
「先取特権・留置権の実務」（給料債権、動産売買を中心に）（ＤＶＤ）

４２．　３月２２日　和歌山支部研修　〔単位　１・５〕
「成年後見業務と司法書士倫理」（ＤＶＤ・意見交換会・質疑応答等）

合計　１１１単位

参考　年度別研修単位取得一覧表

	平成１７年度	平成１８年度	平成１９年度
単位取得者数(１２単位以上)	78 (47.0%)	85 (54.5%)	75 (47.2%)
単位不足者数(１２単位未満)	62 (37.3%)	45 (28.8%)	62 (39.0%)
単位未取得者数(０単位)	26 (15.7%)	26 (16.7%)	22 (13.8%)
対象会員数	166 (100%)	156 (100%)	159 (100%)

	平成２０年度	平成２１年度	平成２２年度
単位取得者数(１２単位以上)	106 (70.2%)	104 (69.3%)	73 (52.5%)
単位不足者数(１２単位未満)	36 (23.8%)	34 (22.7%)	49 (35.3%)
単位未取得者数(０単位)	9 (6.0%)	12 (8.0%)	17 (12.2%)
対象会員数	151 (100%)	150 (100%)	139 (100%)

	平成２３年度	平成２４年度
単位取得者数(１２単位以上)	101 (67.8%)	114 (69.0%)
単位不足者数(１２単位未満)	33 (22.1%)	32 (19.4%)
単位未取得者数(０単位)	15(10.1%)	19 (11.6%)
対象会員数	149 (100%)	165 (100%)

平成２４年度　広報部事業報告

広報部長　川 田 正 子

平成２４年度の広報部の事業方針として、市民と接する場を拡大し司法書士の認知度アップを目指し、マスメディアを有効活用、外部向け制度広報に注力、また、ホームページを通し、内外広報を充実させることを基本スタンスとして、次の事業を実施いたしました。

Ⅰ．事業活動報告

１．司法書士総合相談センターの広報

（１）ラジオー「和歌山放送ニュース」において、提供クレジット＋２０秒ＣＭ実施
平成２４年７月～平成２５年３月（２月１日～２２日は、相続月間）
平成２５年４月・５月についても継続実施
毎週月曜～金曜の午前８時１５分から
スタジオ出演（朝の情報番組　きい☆ハンターにて、毎回約１５分）
平成２４年６月～平成２５年３月　毎月１回　計１０回

（２）リーフレットの地図修正版を決定

２．ホームページの管理、運営

（１）全面リニューアル
平成２５年３月１２日実施
各ページを見直し、情報を充実させると共に、検索時の利便性を高め、また、下層ページの増設等、柔軟に対応できるプログラムに変更した。

（２）会員向情報に「フォトギャラリー」「会員提供資料・情報」メニューを新設
（リニューアル後は、会員向情報「会員の広場」内に同メニューを設置）
定時総会フォト、ラジオスタジオ出演フォト及びＣＤ、会員提供資料を掲出

３．市民への情報公開

（１）本会に関する情報
ホームページのリニューアルに合わせ、情報公開メニューを設け公開

（２）会員の情報
ホームページのお近くの司法書士「会員名簿」で公開

４．会報きのくにの発行

（１）第４０号を平成２５年３月１５日　ホームページの会員向情報に掲出

（２）「みんなの投稿フォトギャラリー」の新設

５．きのくにエクスプレスの発行
（１）部会報告書等
　　随時、ホームページの会員向情報にアップ
（２）平成２４年新入会員紹介
　　平成２５年２月１８日　ホームページの会員向情報「きのくにエクスプレス（Ｈ２４年度会員の異動）」に掲出

６．「相続登記はお済みですか月間」の広報
　平成２５年２月１日から２月２８日
　相談者数：７１人
（１）県民の友・市報わかやまへの記事掲載依頼
　　県民の友　２月号に掲載
（２）県のテレビ・ラジオ番組での広報依頼
　　テレビ「県民チャンネル」・・１月２１日～２月２２日
　　ラジオ「県庁だより」・・１月１１日～２８日
（３）県・市町村・法務局等関係団体へのポスター掲示依頼
（４）報道各社への報道方依頼
　　産経新聞　１月２２日掲載、朝日新聞　１月３１日掲載
　　（他毎日新聞、読売新聞より問合せあり）
　　ＮＨＫ　１月１８日放送、和歌山放送　随時放送
（５）毎日新聞・読売新聞での広告掲載（１月２７日朝刊和歌山版）
（６）ラジオスポットＣＭ実施（２月１日～２２日　２０秒ＣＭ　５０本）
（７）ラジオスタジオ出演による広報
（８）ホームページへの掲出

７．法の日の無料相談の広報
　平成２４年１０月１日から１０月６日
　相談者数：５１人
（１）県民の友・市報わかやまへの記事掲載依頼
　　県民の友９月号に掲載
（２）県のテレビ・ラジオ番組での広報依頼
　　テレビ「県民チャンネル」・・９月１７日～２８日
　　ラジオ「県庁だより」・・９月６日～１０月１日
（３）当会独自のポスター・リーフレット作成
（４）県・市町村・裁判所・法務局等関係団体へのポスター掲示依頼
（５）報道各社への報道方依頼
　　毎日新聞　９月中旬掲載、朝日新聞　９月２７日掲載
　　リビング和歌山　９月２９日掲載（他読売新聞より問合せあり）
　　ＮＨＫ　９月２１日掲載、和歌山放送　随時放送
（６）朝日新聞・産経新聞での広告掲載（９月２３日朝刊和歌山版）
（７）ラジオスタジオ出演による広報
（８）ホームページへの掲出

８．成年後見相談会の広報
　　平成２４年９月１日、８日、１５日、２２日、２９日
　　相談者　１４人
（１）県民の友・市報わかやまへの記事掲載依頼
　　県民の友８月号、市報わかやま９月号に掲載
（２）県のテレビ・ラジオ番組での広報依頼
　　ラジオ「県庁だより」・・・９月４日～２８日
（３）当会独自のポスター・リーフレット作成
（４）県・市町村・裁判所・法務局等関係団体へのポスター掲示依頼
（５）報道各社への報道方依頼
　　毎日新聞　８月上旬掲載、リビング和歌山　８月２５日掲載
　　（他読売新聞より問合せあり）
　　ＮＨＫ　８月２４日放送、和歌山放送　随時放送
（６）ラジオスタジオ出演による広報
（７）ホームページへの掲出
（８）和歌山中央郵便局でのポスター掲示

９．その他
（１）「司法書士の日」の広報（平成２４年８月３日）　相談者数：２名
　　①県・市町村・裁判所・法務局等関係団体へのポスター掲示依頼
　　②和歌山駅・和歌山市駅における駅貼りポスター実施
　　③ホームページへの掲出
（２）法律扶助推進月間の広報（平成２４年１０月１日から１０月３１日）
　　①ラジオスタジオ出演による広報
　　②ホームページへの掲出
（３）「労働トラブル１１０番」の広報（平成２４年１１月２４日）
　　①簡易裁判所、法テラスへのポスター掲示依頼
　　②記者クラブへの記事掲載依頼
　　③ホームページへの掲出

Ⅱ．部会開催

１．第１回広報部会　　平成２４年５月２４日
２．第２回広報部会　　平成２４年７月３日
３．第３回広報部会　　平成２４年１０月１９日
４．第４回広報部会　　平成２５年１月２４日
５．第５回広報部会　　平成２５年３月６日

平成２４年度　相談事業部　事業報告書

相談事業部長　　戸　井　　洋　木

第１　平成２４年度事業報告

１　今期（平成２４年４月～平成２５年３月）の相談事業
（氏名については，敬称略）

（１）相談について

・司法書士総合相談センター（和歌山・田辺・橋本で開催。和歌山は毎週土曜日，田辺では原則第１土曜日，橋本では第２土曜日）
・法テラスセンター相談（第２・第４金曜日）
・「法テラスの日」記念相談会（４月２０日・北野，木村直，戸井）
・一日総合行政相談所　橋　本（１０月　５日　和田）
　　田　辺（１０月１２日　鈴木，栗林）
　　和歌山（１０月１８日　戸井，北野）
・和歌山県多重債務者無料相談会
　　和歌山（１１月１８日　沼）
　　橋　本（１１月１８日　西岡）
　　御　坊（１１月２３日　濱田泰）
　　新　宮（１１月２３日　清水）
　　岩　出（１２月　１日　野嶋）
　　有　田（１２月　１日　東本）
　　和歌山（１２月　７日　戸井）
　　和歌山（１２月　９日　中村和）
　　田　辺（１２月　９日　寒川）
・全国一斉！法務局休日相談所
　９月２３日　和歌山，橋本，田辺，御坊，新宮
　　戸井，北野，土津田，楠見，大宮，和田，寒川，
　　濱田泰，西田良，加藤
　２月２４日　和歌山，橋本，田辺，御坊，新宮
　　戸井，西本，北野，大宮，和田，寒川，戸上，
　　濱田泰，丸本
・専門士業よろず無料相談会（１１月２６日・後藤，木村直，戸井）
・白浜町社会福祉協議会主催の多重債務相談会（月１回）に相談員を派遣（田辺支部に委託）
・和歌山市役所主催の司法書士相談（月１回）に相談員を派遣（和歌山支部に委託）。
・紀の川市社会福祉協議会主催の無料相談会（月１回）に相談員を派遣（岩出支部に委託）

（２）その他相談関連について

・１２月８日，生きるためのなんでも相談村（和歌山城西ノ丸広場）を後援。相談員を派遣（木村直，北野，山本美，井口，戸井）。

・９月８日，近司連，リーガルサポート和歌山支部と共催で，巡回無料相談会（串本町）を開催（本会からは平田，田中純，戸井）。

（３）司法書士総合相談センター（和歌山・田辺・橋本）について

①　今期（平成２４年４月～平成２５年３月）の状況について

和歌山，田辺，橋本で総相談件数は，３２９件となっている。

②　相談の内訳については次の通り

Ⅰ	登記関係	１０３件
Ⅱ	一般事件（相隣関係，金銭トラブル等）	１２６件
Ⅲ	家事事件（相続，後見等）	５７件
Ⅳ	多重債務事件	１３件
Ⅴ	その他（相談票に記載がないものを含む）	３０件

（４）部会の開催

・平成２４年５月１１日，同年６月２日，平成２５年３月８日

（５）ＡＤＲセンターの運営について

別紙参照。

第２　総括

（１）司法書士総合相談センター

・相談件数は大幅に増加した（昨年２３３件，一昨年２５１件）。登記関係はほぼ横ばい(昨年１０２件)だが,一般事件が激増した(昨年４９件)。これは和歌山放送ラジオなどの広報活動により，司法書士の認知度が上がったことによるものと思われる（件数には日司連の司法書士会電話相談センター１００件余りを含んでいます）。

・相談センターの認知媒体については，以前と同じく「自治体等，公的機関」は多い（３１件）が，今年度は「新聞」が増加した（４６件）。主に相続登記月間におけるものであるが，やはり新聞の持つ宣伝力は侮れないと感じる。

・田辺の相談会について,今年度は回数を若干減らす(２か月に１回程度)代わりに，実施月については新聞広告を出すようにしたところ，１回あたり１～２件程度の相談件数であったものが，１１～１５件程度の相談が来るようになった。今後も地元支部会員と協力しながら十分なPRを行い，安定運営を実施していきたい。また，田辺の成功例を参考に，橋本についても積極的に広報を行い，相談ニーズの掘り起こしに努めたい。

（２）その他

・事業計画に掲げた巡回相談については，１回しか実施できなかった。しかし，約３０件もの相談があり，司法過疎地での法律相談ニーズが確実にあることを実感した。

・今回は近司連，リーガルサポート和歌山支部との共催で行ったが，そうすることによってマンパワーも得られ，費用面でも負担が少なく実現できた。今後も近司連の巡回相談活動などと有機的に協力関係を構築し，紛争の法的解決から取り残されている市民を一人でも多く救済するよう，努めていくべきである。

平成２４年度 ADR 運営委員会事業報告

報告者　和歌山県司法書士会 ADR センター
センター長　松 下 忠 弘

１．調停の受付・実施状況

本年度（平成２４年４月１日～平成２５年３月３１日）における受付・実施状況は次のとおりです。

受付案件２件（敷金返還請求、親族関係調整　各１件）
（個別問い合わせ　２件）
調停実施０件
終了事由内訳

合意	０件
相手方不応諾	２件
不適合事案につき不受理	０件

２．ADR 手続用各種書類等の整備

従来より作成されていた申立人、被申立人との下記連絡文書について見直しを行い整備しました。

① ADR 基本様式第６号（被申立人への初回通知）
② ADR 基本様式第７号（被申立人の回答書）
③ ADR 基本様式第１５号（打ち切り通知書）

３．今期の反省と来期の予定

今期の受付案件が２件と低調でありましたので、会員の皆様からの紹介が得られるよう、いろいろな機会に PR を行っていきたい。また、調停員各自のスキル向上のためのＡＤＲ研修を考えていきたい。

以上

執務検討委員会報告および今後の取り組み

執務検討委員会
委員長　稲　垣　　淳

１，　平成２４年度委員会報告

執務検討委員会が設置され，３月２９日までに６回の会議を開催しました.
これまで執務検討委員会では，会員から提出していただいた「論点表」，また各委員から提出していただいた「論点表」の１つ１つの論点（問題点・疑問点）について論点整理をしてきました.

論点整理を行う検討項目（論点項目）について，A 司法書士総論と B 司法書士各論という２つの大項目も設けました.

司法書士総論では，司法書士の業務全般に関係することをテーマとして，それを次の９つの項目に分け，それを「論点項目」としました.

A，司法書士総論の論点項目
（１）品位の保持
（２）報酬
（３）戸籍請求
（４）広告宣伝
（５）社会的活動
（６）他業種との関係（弁護士・行政書士等との業際問題等）
（７）本会との関係（研修会の参加等）
（８）司法書士相互間の関係
（９）補助者

司法書士各論では，司法書士の具体的な業務自体に関係することをテーマとして，これも次の９つの項目に分け，それを「論点項目」としました.

B，司法書士各論の論点項目

（１）不動産登記業務
（２）商業・法人等登記業務
（３）簡易裁判所訴訟代理業務
（４）書類作成業務
（５）訴訟・申立て等における本人訴訟支援業務
（６）成年後見人等財産管理業務
（７）ＡＤＲ業務・相談業務
（８）一般法律事務業務
（９）供託業務

第６回の委員会までに，これら論点項目のうち，司法書士総論では，（３）戸籍請求，（４）広告宣伝，（６）他業種との関係（弁護士・行政書士等との業際問題等）について，司法書士各論では，（１）不動産登記業務，（３）簡易裁判所訴訟代理業務，（５）訴訟・申立て等における本人訴訟支援業務，（６）成年後見人等財産管理業務について，会員および委員の方から提出された論点表について論点整理を行ってきました.

２，　今後の取り組み

目　標

（１）司法書士総論および司法書士各論について，残された論点項目について論点整理を行うこと
（２）会員に対して，日常業務に関連した論点（問題点・疑問点）の提出をお願いしていくこと
（３）それぞれの論点項目について提出された具体的な論点（問題点・疑問点）について，第１ステージで論点整理されたものについて，それを基礎に，次のステージである「規範の定立」を検討していくこと
（４）論点表で提出していただいている論点（問題点・疑問点）について，委員会で検討した成果（論点整理および規範の定立）を，論点（問題点・疑問点）とともに会員に公表すること
（５）それらの成果について広く会員の意見を聴取していくこと

以　上